

進路だより

浜田水産高校

第10号 H30.2.28

進路指導部

年度末です

いよいよ年度末となりました。後は卒業式・高校入試を終えると、すぐに新年度がやって来るというわけです。2年生の皆さんにとって、まだ先のことだと思っていた進路選択のタイムリミットが間もなくやってきますね。K2の皆さんは現在神海丸で実習中ですが、浜田に帰ると助走なしでいきなり進路選択レースへ突入です。準備と覚悟は出来ていますか。

進路選択で悩んだら

ある調査によると、就きたい職業があると回答した高校生は年々減少しているそうです。職業に就いて働く自分をイメージできない人が多くなっているのでしょうか。では本校の皆さんはどうでしょう。「就きたい職業がありますか？」という質問に対して、「わかりません。」と答える人も結構いるのではないのでしょうか。わからないからモヤモヤ・イライラしますね。悩んだり迷ったりもしますね。今後の人生に大きな影響を及ぼすかも知れない選択です、悩んだり迷ったりするのは当たり前で、決して悪いことではありません。しかし、悩んでばかりで何もしないのは困ります。とにかくいろんな情報を集めるために、動き出すことが必要となります。

情報収集は、人から与えられる情報を待つ受け身の姿勢ではなく、自分から積極的に動く事が大切です。進路資料室には必要な情報が収集・整理されています。皆さんのために進路指導部が用意した資料なので、遠慮なく利用して下さい。また、インターネット等からも企業や学校の情報を得ることは可能です。努力してたくさん情報を集めると、その中から何か見えてくるのではないのでしょうか。「悩んだらとりあえず動いてみる」をモットーにしましょう。

誰かに相談したいとき

進路活動を行う過程で「この仕事はどうか。」と思えるようになったとき、誰かに相談したいと思うこともあるはずですが、では誰に相談すれば良いのでしょうか。個人的には2・3年前にその職業に就いて、社会経験を積んだ先輩（本校の卒業生に限りません）が良いと思っています。どのような過程を経て進路選択に至っ

たか。自分の進路選択の良かったところや後悔しているところなど、参考になるものが多いはずですが、身近にそんな先輩が都合よくいる人ばかりではないでしょう。そこで進路指導部では「先輩と語る地元企業職業セミナー」を開催し、先輩との情報交換の機会を設けています。来年度も6月に実施予定なので、話を聞いてみたい職業があれば進路まで知らせて下さい。「〇〇株式会社の〇〇先輩を呼んで下さい。」でもOKです。可能な限り該当する先輩をセミナーへ派遣してもらいます。



先輩と語る地元企業職業セミナー

進路を選択するという事

社会人になると、学校の先生たちのように優しく(?)丁寧に教えてくれる人はいません。自分で情報を集め、自分で分析し、自分で考え、自分で答えを出さなければいけません。進路選択と似ていると思いませんか。進路選択のために払った努力は、社会人となるための訓練といえるかも知れませんね。

みんな通ってきた道

進路活動が思うように進まないときは、焦ってストレスを感じることでしょう。でも大丈夫、皆さんの先輩たちも通ってきた道です。試しに先輩の顔を思い起こして下さい。あの先輩でもやれたんだと思うと、なぜか勇気が湧いてきませんか。無責任かも知れませんが、「まあ何とかかなるだろ。」くらいに思って、ズンズン進んでみることも時には必要ですよ。(たぶん)